

学校評価（職員用）集計結果

- ・ A（そう思う）、B（大体そう思う）、C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）、
- ・ 回答率100%（17人／17人）

(%)

1 教育目標・学校運営、家庭等との連携		A	B	C	D
1	児童生徒の実態を踏まえた教育目標を設定している。	76	24	0	0
2	教育目標の具体化のための取組がなされている。	65	35	0	0
3	保護者に教育目標の周知を図っている。	47	53	0	0
4	教育目標を具体化するために、校長の経営方針の下、職員の共通理解が図られている。	47	53	0	0
5	一斉メールや緊急用携帯電話等を活用し、保護者への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	65	35	0	0
6	学校だよりの配布や他校との交流を行うなど、開かれた学校づくりを推進している。	82	18	0	0
7	学校評議員、PTA及び地域の方々の意見を学校運営に反映するよう努めている。	65	35	0	0

2 教育課程・教育計画等		A	B	C	D
8	児童生徒の障害の状態や特性に応じて教育課程を編成し、自立と社会参加を目指したものになっている。	53	47	0	0
9	学校行事は職員の共通理解の下、前年度の反省を生かしながら組織的な運営が行われている。	59	35	6	0
10	担任している児童生徒が重点目標を達成できるように努めている。	65	35	0	0
11	児童生徒の実態と学習指導要領の内容を踏まえ、適切に個別の指導計画を作成し、日々の学習活動に活用している。	41	59	0	0
12	小・中学部の系統性及び発展性を考慮した指導計画を作成している。	47	53	0	0
13	教育活動全体を通して、自立する姿を見据えた志教育の実践に努めている。	41	59	0	0
14	児童生徒が主体的に学習へ取り組めるように工夫している。	53	47	0	0
15	教育活動を推進するに当たり、児童生徒の障害の状態を把握している。	59	41	0	0
16	一人一人の教育的ニーズに応じて、指導内容や指導方法を設定している。	59	41	0	0
17	TT間等で、その都度話し合いを重ね、授業等の改善を図りながら指導に当たっている。	71	29	0	0
18	地域の人々とのふれあいや他校、本校児童生徒との交流及び共同学習を通して、集団活動へ参加しようとする態度を育成している。	47	47	6	0

3 進路指導・情報教育等		A	B	C	D
19	児童生徒の障害の状態及び発達段階や特性などに応じた進路指導が行われている。	35	65	0	0
20	進路指導担当者と学級担任が連携しながら対応できる体制になっている。	41	59	0	0
21	進路指導に関わる連絡や情報提供（進路だより、進路の手引きなど）がなされている。	56	41	0	0
22	進路相談会などを通して家庭との連携が図られている。	65	35	0	0
23	授業の情報機器（パソコンやタブレットPCなど）や視聴覚機器・図書教材が積極的に活用されている。	65	35	0	0

24	情報セキュリティ意識の向上に努め、情報セキュリティポリシーを遵守している。	65	29	6	0
25	充実した活動を支援するために必要な機器や環境の整備が図られている。	24	52	24	0

4 生徒指導・保健・給食等		A	B	C	D
26	生活のきまりや生徒指導計画、いじめへの対処方針が設定され、共通理解の下、指導に当たっている。	76	18	6	0
27	児童生徒の安全のため、関係諸機関との連絡・連携を定期的に行いながら防犯指導に努めている。	53	41	6	0
28	交流集会や感謝する会などを通して、児童生徒相互の交流や感謝の態度の育成に努めている。	65	35	0	0
29	バス乗車指導を行い、児童生徒が安全にバスを利用するための指導に努めている。	76	24	0	0
30	いじめの早期発見や実態把握のためのアンケートを行い、結果を保護者や教職員と共有している。	82	18	0	0
31	いじめが生じたときには、速やかに学部や全体で共有し、適宜対策委員会等を開くなどの体制が整備されている。	88	0	12	0
32	学校生活・定期健康診断等を通して、一人一人の健康目標に応じた健康づくりの指導がなされている。	88	12	0	0
33	健康な生活や習慣の形成を目指して、家庭との連携が図られている。	71	29	0	0
34	児童生徒の実態に即して意図的、計画的に給食指導がなされている。	47	53	0	0
35	給食指導を推進するに当たり、「給食指導に係る確認及び実態調査」を実施し、家庭との連携を図っている。	65	35	0	0
36	清掃指導など環境美化に関する指導が常時行われている。	35	65	0	0
37	児童生徒の安心・安全な生活を目指して、常時、全職員による安全点検を行い異常箇所の早期対応に努めている。	35	65	0	0
38	学級での安全指導など、より実際に向けた学習活動を計画し、実施している。	35	65	0	0
39	防犯訓練を実施し、防犯への意識を高め、共通理解を持って指導に当たっている。	47	47	6	0
40	不審者対策や防犯用具などが整備されている。	47	47	6	0

5 研究・研修		A	B	C	D
41	校内研究の取り組みは、教師の専門性を高める機会となっている。	82	12	6	0
42	研修振り返りシートは、研究を円滑に進めるための手立てになっている。	76	18	6	0
43	研究及び研修に必要な図書の整備と、情報の収集及び提供に努めている。	70	24	6	0
44	諸検査法講習会など、教師の専門性を高める研修会を実施している。	70	24	6	0

6 校内及び地域への支援		A	B	C	D
45	個別の教育支援計画は、実際の指導・支援及び支援会議、サービスの利用などに役立っている。	65	29	6	0
46	職員に対して、特別支援教育の専門性を高めるための研修（かくよう講座・外部専門家活用事業など）の実施や必要な情報の提供、相談に対する支援などが	70	24	6	0

	適宜行われている。				
47	地域に向けた取り組みとして、児童生徒の作品展への参加や居住地校学習が、組織的、計画的、継続的に行われている。	65	35	0	0
48	保護者に対して支援に関する情報提供（支援の手引き・かくよう講座など）を行い、必要に応じて相談を受けたり、SCや関係機関との連携をコーディネートしたりしている。	59	41	0	0
49	地域のセンター的機能として、圏域市町の幼稚園・保育所・小中高等学校及び教育委員会等の関係機関からの相談に対応することで、特別支援教育の理解を促すとともに、児童生徒への支援体制が整うように働きかけている。	70	24	6	0

7 会計・施設設備等		A	B	C	D
50	会計事務については、学校徴収金マニュアルや前年度の会計簿等を活用し、適切に処理している。	71	29	0	0
51	事務手続きや会計処理は、関係諸規定に基づき、明瞭、迅速、適正に行っている。	53	47	0	0
52	教育（学習）環境の面で、施設・設備が安全に利用できるように配慮している。	29	59	6	6
53	学校で管理している教材・教具については、教育活動において有効活用している。	41	59	0	0
54	施設・設備の整備や備品等の整備に向け、必要性をふまえ計画的に予算要求を行っている。	53	41	6	0

8 防災・危機管理		A	B	C	D
55	児童生徒の緊急時にすぐに対応できる体制やマニュアルを、いつでも活用できる状態にしている。	65	29	6	0
56	校内研修の実施は、職員の防災意識の向上を担っている。	70	24	6	0
57	備蓄品の管理や試食体験を行い、非常時に備えている。	65	35	0	0
58	防災訓練、引き渡し訓練など、より実際に向けた訓練活動を計画し、実施している。	71	29	0	0

9 その他		A	B	C	D
59	スクールバス運行会社と連携・調整して、安全な運営、運行に努めている。	82	18	0	0
60	大学と連携・調整しながら教育実習、介護等体験等の計画を立て、実施している。	70	24	6	0
61	P T A行事等は保護者との連携を図りながら、実施している。	65	29	6	0

6 2 自由記述

NO.	反省事項
1	・教室の数が少なく、児童生徒がクールダウンできる部屋もない。
2	・トイレの環境が悪い。便座が冷たい。男子トイレの洋式トイレは2つしかなく、児童生徒が並んで待つ状態である。